

エディトリアル

日光市民病院 管理者 杉田義博

この特集「日常診療シリーズ」は、へき地の診療所に勤務する一般内科医・総合医が遭遇するさまざまな健康問題のうち、専門性の高い領域について解説していただくもので、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科に続き、今回は泌尿器科領域を取り上げた。

総論は地域の有床診療所に勤務する泌尿器科専門医である鈴木一実先生に画像機器や専門の診断機器がない一般内科診療所でできる診断と治療について系統的に解説していただいた。高齢化とともに頻度が上がる排尿障害については、へき地勤務経験のある泌尿器科医である黒川真輔先生に、診断と治療の流れをスコアやアルゴリズムを用いて分かりやすくまとめていただいた。産婦人科医である倉澤剛太郎先生には女性の骨盤臓器脱を中心に、泌尿器科、婦人科、外科にまたがるurogynecologyを詳細に教えていただいた。一般急性期病院の泌尿器科医である坂田浩一先生には一般診療の現場ではどうしてもタブー視されがちな男性性機能障害について詳しく解説いただき、前立腺疾患の専門家である安土正裕先生には有病率の高い前立腺の悪性・良性腫瘍を最新の治療を含めて解説いただいた。自治医科大学において全国でも数少ない小児泌尿器科の専門治療を行っておられた中井秀郎先生には、小児の腎尿路疾患、性腺生殖器疾患、排尿機能異常について、急性陰囊症のような緊急疾患から包茎や夜尿症といった総合医が相談を受けるであろう疾患まで詳しく取り上げていただいた。高齢化社会において在宅診療や介護施設といった場面でさまざまな理由で尿道留置カテーテルを使用する頻度は高く、しばしば閉塞や感染といったトラブルを経験する。実際に在宅診療に携わる古清水岳志先生にはカテーテルの挿入や固定、実際の管理について写真等を使って分かりやすく教えていただいた。医師だけでなく看護、介護といったスタッフにも参考になると思われる。

今回は診療所や病院、大学といったさまざまな場所で専門医として、また専門性を持つ一般医として診療に当たっている方が多く執筆し、専門知識に加えて実際的な技術やノウハウを提供してくれた。高齢化が進む中、排尿に関する自覚症状、困りごとは増えていくはずだが、一般内科の診療所でシモの話、オシッコの話は相談しにくい場合もあるだろうし、医師もこの領域を苦手と感じることが多いだろう。この特集を通して、身近な健康問題である泌尿器科領域を得意にしていきたい。最後になるが、特集の内容や執筆する先生方について多くのアドバイスをいただいた村石修先生(自治医大1期)と安土正裕先生(自治医大14期)に深く感謝申し上げる。

●編集委員の杉田義博先生からのメッセージ

https://www.youtube.com/shorts/ZT6wM_Aa4A

